

2005年10月14日
MR/J32/05



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5 53 70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

メディア用原稿
非公式記録

国連大学、島津製作所と研究プロジェクト協定調印

イベント: 水圏における環境モニタリングプロジェクト協定調印式
日時: 2005年10月21日(金)(午前11:30～午後12:30)
会場: UNハウス(国連大学ビル) 12階会議室
調印者: ハンス・ファン・ヒンケル(国連大学学長)
服部重彦(島津製作所 代表取締役社長)

要点:

- 1996年以来、島津製作所は国連大学による「東アジア水圏における環境モニタリングおよびガバナンス」プロジェクトを支援してきました。また、この企業と公的機関による協力関係は、島津製作所提供の機器を使用した参加型の研修やモニタリング活動を通じ、参加各機関での化学物質の分析能力を育成してきました。
- この度、国連大学と島津製作所は本プロジェクトを第4期(2005-2008)へと継続していくことに合意しました。3年間でおよそ5千万円を超える島津製作所の好意的な支援のもと、本プロジェクト対象地域は東・東南アジアより南アジアを含む地域へと拡大されます。
- プロジェクトの第4期は水生生物における残留性有機汚染物質(POPs)のモニタリングに重点を置きます。残留性有機汚染物質(POPs)とは、ダイオキシンやDDTなど長期間環境内に残留し、広範囲へと拡散していく化学物質を言います。これらは徐々に生物の体内の脂肪部分に蓄積し、ガンになる危険性を高め、また、身体のホルモン分泌への影響を含む重大な健康被害へと繋がる危険性があります。食物連鎖のなかでのPOPsのモニタリングは人間への影響を見極めるために重要です。
- 第4期は、農業で多くのPOPsが使用されているインドとパキスタンが現在の研究対象9カ国(中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)に加えられます。特にインドでは、高濃度の γ -ヘキサクロロシクロヘキサン類(別名:リンデン Lindane)検出が報告されています。今回新規にプロジェクトのパートナーとなるバラティダサン大学(インド)及びパキスタン水資源研究委員会に対し、最新の分析機器とモニタリング/化学物質分析についての研修が提供されます。
- 本プロジェクトは国連のミレニアム開発目標(MDGs)のうち3つの目標に貢献しています。1) 発展途上国における女性研究者や研修生の能力開発機会確保(MDG3)、2) 研究やその結果は参加国をはじめとする国での環境の持続可能性へ貢献、3) 国際的な開発のためのパートナーシップの形成(MDG8)

調印式に引き続き、質疑応答の時間を設けます。

詳細及びご出席について等お問い合わせは、国連大学広報部の谷野(やの)まで。

(tel: 03-5467-1311; e-mail: media@unu.edu).

MEDIA ADVISORY



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。